

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	日本経済大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ニホンケイザイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	九州地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	経済・経営学部
	担当教職員名・役職	森 由紀(経営学部 講師)寺地 一浩(経営学部 教授)
基本情報	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	42
	受入企業等数	25
	受入企業等名	青山商事(株)、麻生レコードマネジメント(株)、エース印刷(株)えーるピア久留米施設事務所、(株)紀伊國屋書店、(株)九州神陵文庫、九冷産業(株)、コカ・コーラウエスト(株)五十二萬石本舗、(財)佐賀県国際交流協会、(株)ザザホラヤ、日本航空(株)、(株)大丸別荘、太宰府市役所、(株)ダスキンサーヴ九州、(株)千鳥饅頭総本舗、(株)イーアンドイーホテル、福岡市南区役所、(株)福岡ニット、防衛省・自衛隊福岡地方協力本部、(株)南福岡自動車学校、(株)三好不動産、メディカル・ケア・サービス九州(株)、(有)柳川観光、リコージャパン(株)
	インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業等の計画による業務体験及び課題解決に伴う調査等を行い、最終日にプレゼンテーションを行う。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2～3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	講義2単位 実習2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	まずは、実習前の事前講義を通して、目的意識を強化し、より円滑な就業体験を図り、さらに実習経験を通して、自らの職業適性を確認するとともに社会人としての意識向上を主体的に図ることを目指せるよう、講義から実習へと一連の流れが作れるようになっている。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している 2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	01)オリエンテーション02)ビジネスの基本マナー03)コミュニケーションの基本マナー04)訪問時・来客時の基本マナー05)電話の基本マナー06)ビジネスメールの基本マナー07)ビジネス文書の基礎知識08)自己紹介書の作成&自己紹介スピーチ09)社会人講話
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	秋学期第2週目、同じ講義時間に全学生・全教職員への公開全体報告会を行う。このため、グループ分けをし、どういった報告内容にするかなど、各グループで準備を進める。開催前週の講義時間に集まり、全体で発表会の準備をおこない報告会を開催する。これは、研修生の成長を伝える場であり、また次年度のインターンシップ研修生への橋渡しとなる機会となる。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	担当教員が協力し、常時学生と連絡が取れる体制を構築する。このことにより、学生からの相談及び緊急対応ができるようにしている。学生の状況把握を取るためにも、定期的な面談、実習中のモニタリングを行う。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	レポート・日誌の提出により、指導教員は学生へのフィードバックを行い、学生への自己理解を促す。その後、教員間での分析などにより研鑽を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日～2週間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	リコージャパン(株)や防衛省・自衛隊等は5日間、日本航空(株)や(株)三好不動産等は8日間、市役所や区役所等の公的機関は10～2週間
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの実施要項による目的・内容をご理解いただいた企業に、協働してプログラムを設計している。また、担当教員と受入企業等と常に情報交換ができるように体制を設けている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<インターンシップ> https://www.jue.ac.jp/for_student/internships/ <シラバス> https://jue.tsuzuki.ac.jp/public/web/Syllabus/WebsyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
問	大学等名 担当部署名	日本経済大学 キャリアサポートセンター

問い合わせ先	担当者役職名	キャリアサポートセンター長
	担当者氏名	寺地 一浩
	電話番号	092-921-9814
	メールアドレス	syusyoku@fkjue.ac.jp